



第2回

いいたて村民ふれ愛号

住民同士 ふれ愛交流

3号車のみなさん



1号車のみなさん



2号車のみなさん



佐藤照子さん(前田)

名前のとおりすばらしい
「ふれあい」ができました

ふれ愛号には、行政区長さんからお話をいただき、家族からも「ぜひ行ってきたら」と進められたので参加しました。

今回の参加の一番は、「ふれ愛号」の名前のとおり、私自身すばらしいふれあいを体験することができたことです。道中のバスの中、食事の時、夜の懇親会、若いも若いも一緒になって交流し、楽しめたことがとても嬉しかったです。

また、村長さんがそれぞれのバスを移動して村のことを話してくださったことも、村のことをよく知ることができ、有意義でした。とても楽しい旅ができたふれ愛号に来年もまたぜひ参加したいと思っています。

宮沢賢治記念館



ふれ愛号はお勧めの
事業です。



川里正義さん(宮内)

2回目の参加となった今回のふれ愛号では、昨年に比べ、行程に多少のゆとりを持たせてあったりと、昨年行った参加者アンケートの結果がきちんと反映されていると感じました。

バスの中では同級生と一緒にいたり、同乗した飯橋町の方たちがユーモアあふれる人達だったりと、とても楽しく道中を過ごすことができました。村長さんや議員の方のお話を直接聞くことができ、村の動きに目を向けるよい機会となりました。

旅の中で、盛岡手づくり村と鉄器館は楽しく見学できた場所でした。特に鉄器館では南部鉄器の製法を知ることができ、見聞を広げることができました。

ふれ愛号は来年も行われるようです。参加枠に余裕があれば私も参加したいですが、まだ参加したことのない方にぜひお勧めしたい事業です。

盛岡手づくり村



行政区長会主催による「第2回いいたて村民ふれ愛号」は10月16日、17日の2日間の日程で行われ、住民108人と村長、副議長をはじめとする、村議会議員、村職員ら10人とが村づくり研修の旅を通して交流を深めました。

秋田近代美術館



道中、自己紹介等が行われたバスの中では、同行した菅野村長から、現在村の抱える問題等についての説明などが行われ、参加者らは村を取りまく情勢や問題について認識を深めていました。

この日は他にも田沢湖や盛岡手づくり村などを見学し、鶯宿温泉に宿泊。夕食時に行われた懇親会では参加者同士、お話を聞きながら盛んに交流を深めていました。

17日は岩手の鉄器館や宮沢賢治記念館を見学。見聞を広めるとともに、飯館へと帰ってきました。

岩鉄器館

